

日本化学工業協会 安全表彰会議事務局様

日本化学工業協会 安全シンポジウム資料

【人と環境にやさしい会社へ】

2023年10月24日

DICプラスチック株式会社
埼玉工場
環境安全品質部 環境安全課 橋本誠吾



DIC Corporation

DICプラスチック株式会社 埼玉工場概要

- ◆ 事業所名 : DICプラスチック株式会社 埼玉工場
- ◆ 所在地 : 埼玉県北足立郡伊奈町小室4429-14
- ◆ 従業員数 : 47名(スタッフ社員、派遣社員含む:2023年10月1日現在)
- ◆ 規模及び事業内容
 - (1) 事業所敷地等 工場(敷地)4,760㎡、(建物)1,635㎡
 - (2) 事業内容
 - ・保護帽(保護帽の規格/労働省告示改正第120号/2001年1月6日施行)
 - ・電気用帽子(絶縁用保護具等の規格/労働省告示改正第33号/1975年9月4日施行)
 - ・乗車用ヘルメット(SG工場等登録番号:004-008/1974年12月26日)
 - ・自転車用ヘルメット(SG工場等登録番号:005-012/2013年6月10日)



製品安全協会
SGマーク認定工場
1974.12.26 乗車用
2013.6.10 自転車用



ISO 9001 審査登録
DICプラスチック株式会社 埼玉工場
JCQA-1801



DICプラスチック株式会社 事業所一覧及び企業理念

企業理念

私たちはプラスチック加工を基礎技術として
お客さまの立場にたつて
新たな価値の創出に努めます

経営指針

- ・効率とスピードを重視し顧客の問題解決に迅速に対応します
- ・循環型社会を念頭に置いて技術・製品の開発を推進します
- ・たえず技術を革新し顧客に最良の品質を提供します
- ・コンプライアンス体制を徹底し法令・規制要求事項を満たします

社員の誓い

- ・各自の能力を磨くと共に全体としての調和を図り
組織の総合力の最大化を目指します
- ・みずみずしい感性と熱い情熱を持ち続けます
- ・お互いの個性を尊重し自由闊達な職場を創りあげます



DICプラスチック株式会社

本 社	〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル20階 TEL：048-658-8855 FAX: 048-643-8891
札幌営業所	〒061-1112 北海道北広島市共栄54-15 TEL: 011-370-2611 FAX: 011-370-2612
名古屋営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-7-15 名古屋ディーアイシービル TEL: 052-857-0300 FAX: 052-857-0301
大阪営業所	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-4-17 新大阪上野東洋ビル6階 TEL: 06-6307-2314 FAX: 06-6307-2318
館林工場	〒374-0001 群馬県館林市大島町東部工業団地6023 TEL: 0276-77-2251 FAX: 0276-77-2250 〈ISO9001、ISO13485（医療関連）、ISO14001認証取得工場〉
埼玉工場	〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室志久4429-14 TEL:048-723-0611 FAX:048-723-0403 〈ISO9001、SGマーク認定工場〉

関係会社

ワイディープラスチック株式会社 (50%出資)	〒061-1112 北海道北広島市共栄54-15 TEL:011-373-2331 FAX:011-373-2771 [事業内容] ペットボトル容器の製造・販売
----------------------------	--

DICプラスチック株式会社製品群

理化学・診断薬資材



仮設資材



安全資材

産業用ヘルメット

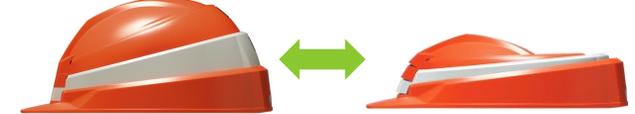


埼玉工場 生産品目

通学用ヘルメット



防災用ヘルメット



容器資材



農園芸資材



関連会社



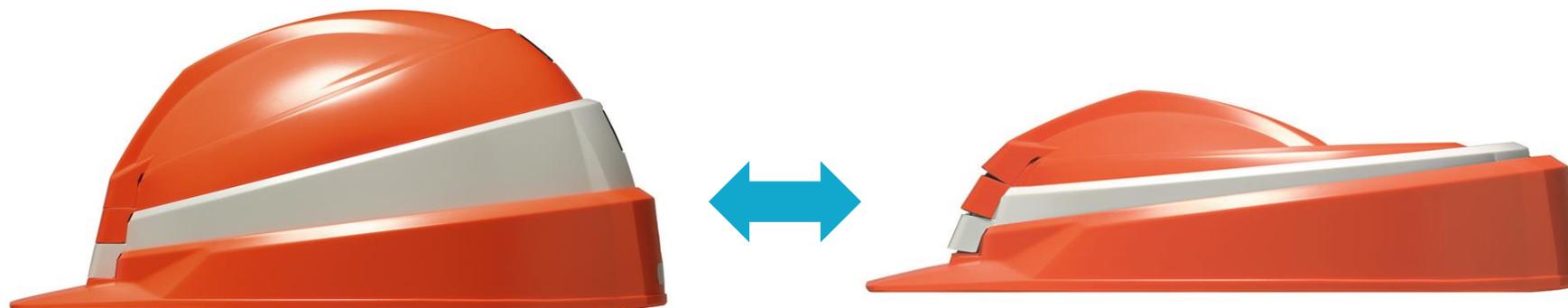
PETボトル
プリフォーム



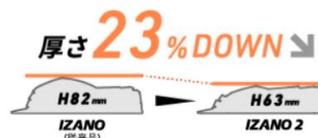
防災用ヘルメット

IZANOTM 2

収納、最薄コンパクト。プロも子供も、最速プロテクト。

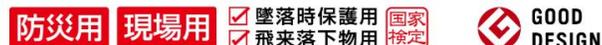


業界最薄^{※1}



—— 現場で使える保護性能×業界最薄^{※1} 63mm ——

“プロユースにも耐える”折りたたみヘルメット”という市場を世界で初めて作った **IZANO** が、飛躍的に進化。



※1 折りたたみ型 墜落時保護規格ヘルメットにおいて。2021年2月現在 当社調べ

※2 IZANO 2は厚生労働省 保護帽規格「飛来・落下物用」「墜落時保護用」2つの国家検定を取得しており、建設現場や高所作業などプロの方々にも使用していただける保護性能を有しています。

機能性ヘルメット

超軽量ヘルメット AA17/AA17-V

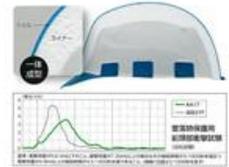


圧倒的な軽さで、働く人の毎日を変えるヘルメット

1 軽い
業界最軽量・270g。
単三電池5本分、軽い。



2 強い
一体構造が実現した、強さと軽さの両立。



3 電気対応

電気用規格に対応する、ただひとつの超軽量ヘルメット。

従来300g前後の超軽量ヘルメットは、電気対応の特殊素材を用いた構造ヘルメットのみ存在しました。AA17はAA17という一般的なヘルメットから、構造と重量と電気規格(7.500V以下)を同時に達成。今まで超軽量ヘルメットが選別品だった電気工事ユーザーにも、超軽量の快適さを提供します。

軽神
KEIJIN



軽量

総重量: 320g(ライナー無し)/340g(ライナー付)
従来製品に比べ、圧倒的な軽量化を実現。EG3ヘッドバンドとのコンビネーションにより、より快適に、よりアジャスタブルに作業に集中できます。

重量 17%OFF!!

遮熱

塗装ではない新しい遮熱の提案
名付けて、ヒートバリア

遮熱層を本体に貼り込むという新しい試みで、実現した遮熱性能と低コストの両立。フロントベンチレーション層との相乗効果で熱中症リスクを低減します。

ヒートバリア

清涼

前頭部から後部へ抜けるフロントベンチレーション

従来製品にはなかった顔の周りに大きな通気孔。前面から効率よく風を取り入れ、後部へとスムーズに熱気を放出します。未体験の清涼感、まさに涼神。

フロントベンチレーション

革新

新時代のヘッドバンド EG3を新採用

フレーム構造を採用したことで、15%前後もの軽量化に成功。フィット感の向上・調整部の向上も同時に実現しました。

産業用ヘルメットの性能試験

国家検定適合品

厚生労働省の**保護帽の規格**(「飛来・落下物用」「墜落時保護用」)および**絶縁用保護具の規格**に準拠



耐貫通性能試験 (厚生労働省保護帽規格による)

●飛来・落下物用の試験…人頭模型に保護帽を装着し、3kgの円すい形ストライカ(先端角度60°)を1mの高さから保護帽の頂部に落下させます。そのとき、円すい形ストライカの先端が人頭模型に接触しなければ合格です。(写真)



衝撃吸収性能試験 (厚生労働省保護帽規格による)

●飛来・落下物用試験…高温、低温、浸漬処理をした保護帽を人頭模型に装着し、5kgの半球形ストライカを1mの高さから保護帽の頂部に落下させます。その時、人頭模型に伝わる衝撃荷重が4.90kN以下であれば合格です。(写真)



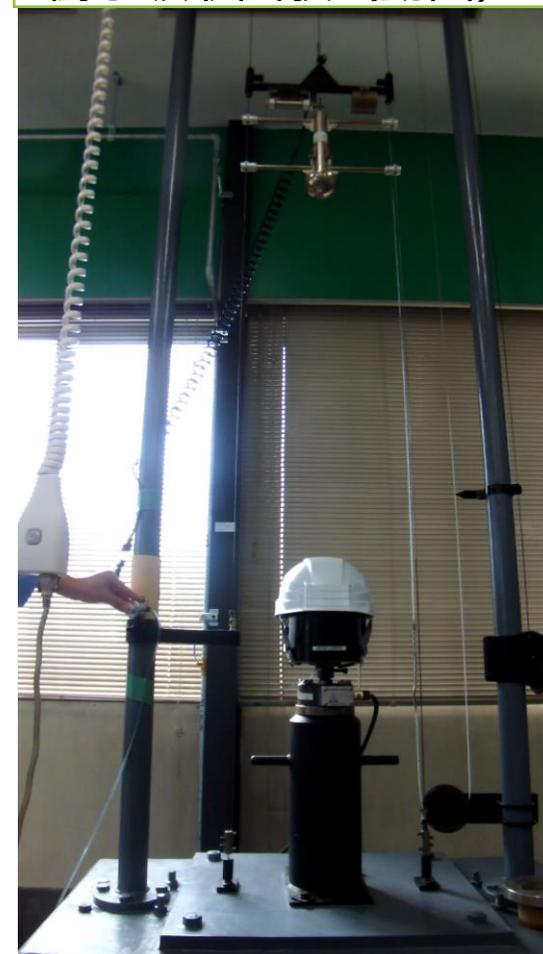
絶縁用保護具の耐電圧性能試験(電気用)
(厚生労働省保護帽規格による)

●試験用水槽の中に帽体内外の水位が同一になるように水を入れ20kVの電圧を加えたとき、1分間、絶縁破壊せず耐えれば合格です。

●墜落時保護用の試験…まず帽体を試験用治具の頂部リングにかぶせます。その時、落下点が帽体の前頭部、後頭部及び両側頭部にくるよう合わせます。次に、1.8kgの円すい形ストライカ(先端角度60°)を0.6mの高さから落下させ、試験用治具の頂部リングの上端から帽体内面のくぼみの最下降点(円すい形ストライカの先端が帽体を貫通した場合は円すい形ストライカの先端)までの垂直距離を計測。その値が15mm以下であれば合格です。

●墜落時保護用試験…高温、低温、浸漬処理をした保護帽を30°傾斜している人頭模型に衝撃点が前頭部及び後頭部になるように装着します。そして5kgの平面形ストライカを1mの高さから落下させます。その時、人頭模型に伝わる衝撃荷重が9.81kN以下であること。又、その継続時間が7.35kN時では1000分の3秒以上、4.90kN時は1000分の4.5秒以上、継続しないことが合格規準です。

衝撃吸収試験 (動画)



生産プロセス

技術

生産
計画

購買

製造

加工

組立

検査

出荷

技術開発

射出成型

加工 (ラインテープ・加飾印刷)

組立工程 (構内外注)

検査



試験 (耐貫通、耐衝撃試験等)



主たる設備①

	設備名称
1	・射出成形機(180t、280t、300t、350t)
2	・原料乾燥設備
3	・原料粉碎機
4	・金型反転機
5	・KS式孔明機
6	・自動孔明機
7	・縦型プレス式孔明機
8	・局所排気装置
9	・大型インクジェットプリンター
10	その他試験設備機関連

2023年度は全ての機械設備に関し安全装置の利用状況、手動解除の有無等を調査。

射出成形機



縦型プレス式孔明機



KS式孔明機



①基本方針：埼玉工場サステナビリティ方針

DIC(株)サステナビリティ方針



DICプラスチック(株)
サステナビリティ方針



DICプラスチック(株)
埼玉工場サステナビリティ方針



各部署
サステナビリティ
活動管理表を作成



各部署
四半期毎に進捗報告、
マネジメントレビューの実施

埼玉工場サステナビリティ方針（一部抜粋）

4. 安全・環境・健康のレベル向上

(1) 安全基本動作遵守の啓蒙活動とルール順守の率先垂範による安全文化の定着

- ・職場巡視の強化による5Sの徹底(整理・整頓・清潔・清掃・躰)
- ・リスクアセスメントの実施と作業手順書への展開
- ・体感教育の計画的な実施

・WBGT値の確認による熱中症対応手順の実際の運用と記録の整備

(2) 環境負荷の更なる低減

(2-1) 省エネ活動と産廃削減(有価率向上策の検討実施)の活動推進

(2-2) 改善活動の継続推進によるムラ、ムリ、ムダの徹底的な排除

サステナビリティ
方針

年度報告会
(年度末)

方針管理表
(各部署)

進捗報告会
(四半期毎)

安全管理体制

有資格者・専任者は工場棟1階に「有資格者一覧表」として掲示

有資格者・作業主任者等

安全衛生管理責任者
(工場長)

安全衛生推進者
(環境安全課長)

安全衛生委員会

事業者側委員

労働者側委員

構内外注業者

防火管理者
(製造部長)

危険物保安監督者
(製造部長)

化学物質管理者
(環境安全課長)

有機溶剤作業主任者

特定化学物質作業主任者

床上操作式クレーン運転

玉掛作業

フォークリフト運転

産業用ロボット特別教育

自由研削用といしの特別教育

表-1 当工場における作業主任者選任業務、就業制限業務、特別教育

項目	作業主任者／就業制限／特別教育名	業務内容	部署
作業主任者選任業務	特定化学物質作業主任者	特定化学物質の取扱い	製造部
	有機溶剤作業主任者	有機溶剤の取扱い	製造部
就業制限業務	フォークリフト	最大荷重1トン以上の運転業務	業務部 製造部
	玉掛	つり荷重1トン以上のクレーン、移動式クレーン、デリックの玉掛業務	製造部
	床上操作式クレーン	床上操作式クレーンの取扱い	製造部
特別教育	研削といしの取替え又は取替時の試運転の業務	グラインダーの砥石交換、試運転作業	製造部
	動力プレス機の金型、シャーの刃部又はプレス機械・シャーの安全装置・安全囲いの取り付け、取り外し又は調整の業務	動力プレス機の金型取り外し又は調整業務	製造部
	つり上げ荷重5t未満のクレーン運転業務	左記作業	製造部
	産業用ロボットの稼働範囲において行う教示等又はそれらを行う労働者と共同して稼働範囲外にて行う当該教示等に係る機器の操作業務	射出成型時の取出機に伴う、取り出し作業	製造部

具体的な安全対策（概要）

①法令・規則遵守

労働安全衛生法等

DICグループガイドライン

社内規定

②安全方針・計画

サステナビリティ方針

DICグループレスポンスブル・
ケア活動計画

安全衛生活動計画

③作業手順書の整備

作業手順書の整備

力量評価の実施

作業手順書の定期的な見直し

④安全意識啓蒙活動

工場長全体朝礼

DIC安全基本動作呼称

安全標語募集

⑤教育

eラーニング

資格取得・技能講習

安全教育動画

⑥安全衛生委員会

工場長職場巡視

安全衛生パトロール

DICグループ災害展開

⑦リスクアセスメント

作業行動

機械設備

化学物質

⑧重点テーマ対策

カッター使用時ルール

熱中症予防対策

腰痛対策

⑨機械設備安全対策

日常・法定点検

保護具着用基準

設備安全対策

⑩防災訓練

安否確認訓練

防災訓練

消火設備等点検

当工場はゼロ災害の継続が目標を達成するため、従業員の安全意識の向上、労働災害未然防止活動を日々積み重ねて実施している。

具体的な安全対策①-1

安全意識啓蒙活動

全体朝礼時の安全啓蒙活動（工場長）

【②伝達事項】

1. 新型コロナウイルス感染防止…本日3/13(月)以降マスク着用は個人の判断
 ※工場内は基本の感染対策を継続・徹底(手指消毒・検温・不織布マスク)
 ※気温が高い日もあり、一人作業や他の人との距離がとれれば、適切な着脱をお願いします。
2. 全員で安全を確保する…「危険に対する感性」「安全基本動作の遵守」
 「決められたルールを確実に行う」…不安全行動の排除
 「ちよい置き」「ずっと置き」の排除…定位置の設定と慣習化
 ・季節の変わり目…体調管理・設備管理・環境管理・衛生管理
 ・体調が少しでも優れない時は、直ぐに周りの人に連絡。自分勝手な判断はしない。
3. 品質管理…手順・ルールの遵守…「4H作業(初めて・変更・久しぶり・引継ぎ)」
 ・確実な作業を行うために…「手順書の確認と遵守・3S(整理・整頓・清掃)定着」
 「これぐらいなら」「忙しいから」…「大丈夫だろう・はずだ」「言い訳」の徹底排除
 ※繁忙期中、IZANO2の社内組立て、臨機応変な出荷対応等、確実な作業をお願いします。

毎月の全体朝礼で全従業員を対象に、安全のテーマについて注意点を説明
 (朝礼月に関連する安全衛生情報を安全衛生シートを用いて説明)



全国安全週間時に安全標語の募集。 入賞者は全体朝礼で表彰（2022年度入賞作品）

1. 入賞作品

順位	作品	氏名(敬称略)	所属
1等	話し合おう 違う目線で 危険予知 みんなで育てる安全意識		埼玉工場 業務部 業務課
2等	ルールを守り・守らせる 一人ひとりが責任者 注意しあえる安全職場		館林工場 製造部 成型課
3等	忘れるな！ルールがある事、守る事 守って築く安全職場		埼玉工場 製造部 製造課
佳作	「これぐらい」小さな油断が事故の元		埼玉工場 業務部 業務課
佳作	その癖なくそう ポケットハンド 見た目も悪いしけがの元!!		埼玉工場 業務部 業務課
佳作	焦らず 急がず 手を抜かず 指差し呼称で安全職場		埼玉工場 製造部 生産計画課
佳作	慣れた作業に潜む事故 初心を忘れず安全作業		館林工場 環境安全品質部 環境安全品質課
佳作	トラブル時、その手・その足、出す前に 手順を守って安全作業		館林工場 製造部 成型課

具体的な安全対策①-2

安全意識啓蒙活動

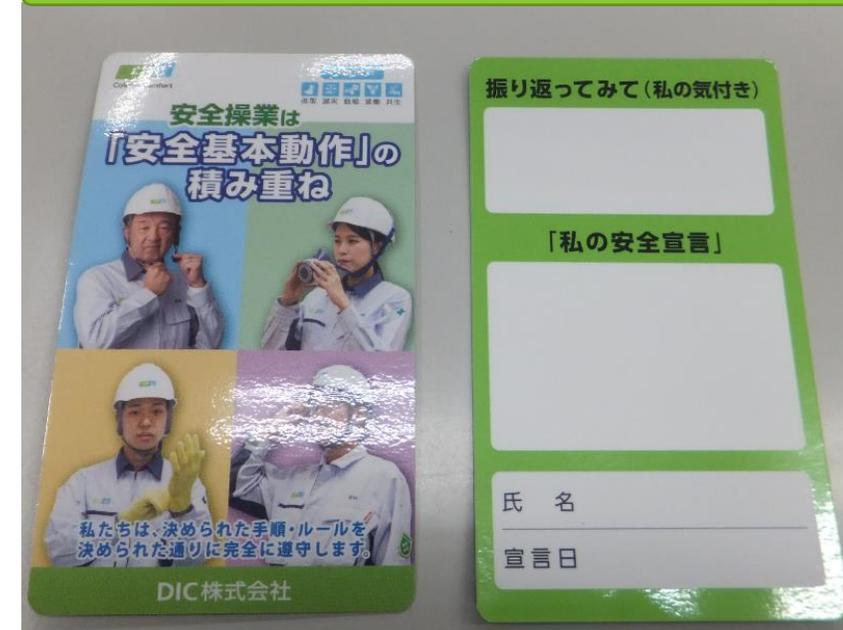
DIC社長ポスター掲示



DIC安全基本動作



私の安全宣言



安全操業はDICグループ経営の根幹であり、ポスター掲示による啓蒙活動。DIC安全基本動作の読み上げ1人1人が記載し、宣言する「私の安全宣言」など、安全最優先の事業運営を当工場も実施。

具体的な安全対策⑤-2 安全体感教育

教育

安全体感教育プログラム(2023) 2時間コース

2023年2月

RC型(高機)

依頼事業所と協議してプログラム変更可。
受講者数：最大 6名/班を基本とする。

従業員が起こりうる労働災害の危険を実際に体感し、労働災害防止につなげる体感教育。2023年度 埼玉工場全従業員を対象に安全体感教育受講
(2022年度以前はコロナ渦の影響により体感教育受講は中止)



体感テーマ：転倒
・ステップ滑り



体感テーマ：巻き込まれ
・Vベルト巻き込まれ

プログラム	体感テーマ	体感教育項目	体感方法	目的・ねらい	教育標準時間	
					分	累計
1	目的	オリエンテーション	班	目的、注意事項を説明する	5	5
2	難聴	難聴体感		難聴の聞こえ方	5	10
3	薬傷	アルカリ溶液の皮膚浸透	班	5%苛性ソーダの皮膚浸透	6	16
4	切創	カッターナイフ切創	個人	耐切創手袋(ケブラー)は切れる	6	22
5	転倒	ステップ滑り	個人	滑り易い状況と手摺りの重要性	5	27
6	巻き込まれ	網引き型ロール巻き込まれ	個人	機械の力には抗いきれない	5	32
7	残圧	残圧放出(カップラー離脱)	個人	残圧放出の勢い	6	38
8		微圧放出(10kPa水柱放出)	班	微圧でも飛散する	3	41
9	腰痛	重量物目測/正しい荷の持ち方	個人	大きさ重さ錯覚を知る	10	51
10	巻き込まれ	Vベルト巻き込まれ	個人	指が巻き込まれた	6	57
11		チェーン巻き込まれ	個人	指が巻き込まれた	6	63
12		電動スクリューフィーダー巻き込まれ	個人	二軸押出器に巻き込まれた	10	73
13		回転シャフト巻き込まれ(複合機)	個人	高速攪拌機に巻き込まれた	6	79
14		ロール巻き込まれ(複合機)	個人	ロールに巻き込まれた	6	85
15	安全装置	ロールの各種安全装置動作(複合機)	班	安全装置の種類	3	88
16	静電気	1: 誘導帯電	班	パンデグラフへの導体接近	2	90
17		2: 摩擦帯電		テフロン板と布の摩擦	3	93
18		3: 接地方法		正しい接地の手順	5	98
19	爆発	溶剤爆発	班	有機溶剤の蒸気が爆発	6	104
20		粉じん爆発	班	粉体原料で粉じん爆発	6	110
21	排気	局所排気	班	局排のフランジ効果	8	118

※写真提供：DIC株式会社(上記は他事業所向けの説明風景)

具体的な安全対策③-2 熱中症予防対策

重点テーマ対策

WBGT値予測値配信

さいたま（埼玉）2022年8月8日（月）の実況と予測

通常の暑さ指数 30.1（**嚴重警戒**）

今日の予測

3日間の予測

	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時	24時
今日(8月8日)			31	32	31	28	27	26
明日(8月9日)	25	25	30	33	34	30	28	28
明後日(8月10日)	26	26	28	33	33	28	29	28

環境省：熱中症予防サイト

2023年は5月10日～10月3日の間、WBGT値予測値を日々配信。さらに日々対象となる警戒レベル値のポスターを各職場に掲示

日々対象となる下記警戒シートを工場に掲示

休憩・水分塩分補給 チェックシート

【熱中症予防対策】休憩・水分塩分補給 チェック表
WBGT値危険エリア(外、工場棟2階在庫ヤード)において1時間以上作業した場合は必ず記入してください。

WBGT値	25℃未満	25℃以上 28℃未満	28℃以上 31℃未満	31℃以上
暑熱環境レベル	注意	警戒	嚴重警戒	危険
休憩頻度(目安)	2時間に1回	1時間30分に1回	1時間に1回	15分～45分程度

※①【WBGT値欄】作業時のWBGT値を記入。②【作業場所】該当欄に印。③【休憩時間欄】実際の休憩時間を記入。④【確認】休憩を確認した人がサイン(捺印可)
⑤水分、塩分補給をした場合は該当欄に印。※同一作業で1日4回以上の休憩が発生した場合は2行目をご使用ください。1週間枚数が足りない場合は複数枚ご使用ください。

日付	氏名	項目	①			②			③				
			WBGT値	作業場所	休憩時間	確認	WBGT値	作業場所	休憩時間	確認	WBGT値	作業場所	休憩時間
例 7月7日	〇〇 〇〇	休憩	28	外	10:30 ~ 10:40	〇〇	31	外	15:40 ~ 15:50				
		水分塩分補給		工場棟2階	<input checked="" type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 塩			工場棟2階	<input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 塩	<input type="checkbox"/>			
		休憩		外	~			外	~				
		水分塩分補給		工場棟2階	<input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 塩			工場棟2階	<input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 塩	<input type="checkbox"/>			
		休憩		外	~			外	~				
		水分塩分補給		工場棟2階	<input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 塩			工場棟2階	<input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 塩	<input type="checkbox"/>			

トイレに掲示

尿の色で脱水症状をチェック

尿の色で脱水症状をチェック

- 問題なし 普段通りに水分を取りましょう
- 問題なし コップ1杯の水分を取りましょう
- 1時間以内に250mLの水分を取りましょう 屋外あるいは発汗していれば、500mLの水分を取りましょう
- 今すぐ250mLの水分を取りましょう 屋外あるいは発汗していれば、500mLの水分を取りましょう
- 今すぐ1000mLの水分を取りましょう この色より濃い、あるいは赤/茶色が混じっていたら、すぐ病院へ行きましょう

出典：Dehydration Urine Color Chart

2022年度は「熱中症教育」の実施、並びに「空調服」、「ヒヤロン、経口補水液」の活用。2023年度は「熱中症危険エリア」を定め、休憩記録の徹底及び、水冷服、アイスベストを導入。

具体的な安全対策⑥-1 安全衛生パトロール（職場巡視）

安全衛生委員会

工場長職場巡視（年2回）

作成日：2022年12月27日
環境安全課 橋本

工場長職場巡視結果一覧表

巡視日時：2022年12月26日（月） 15:00～16:00
巡回者：菅野工場長、橋本

No.	場所	指摘内容	指摘写真	改善内容/改善写真
1	工作室脇居室	不用品であれば撤去		不用品と判断し撤去とする。 1月24日：解体し金属スクラップとして業者引取りとする
		第一技術部		
2	工作室脇居室	制御盤に制御盤内容の表示及び制御盤前のダンボール（制御盤が開かない）		12月28日：制御盤表示 制御盤が開くように整理
		製造部		
3	外	不要？ホースと金具		12月26日：同日尾筋課長へお伝えし、不用品である為撤去
		製造部		
4	外	クーリングタワーの盤、電源ランプ切れ（他のランプは点灯）		12月28日：制御盤電源ランプ点灯確認、電源ランプカバーが変色して見えにくい為カバー交換いたしました。
		製造部		

2023年度安全衛生パトロール重点項目計画

時期	DICグループ全社一律活動計画	実施方法・巡視方法	安全衛生委員会実施
1月	ルール教育の実施	①事業所ルールの教育を行う。例：火気使用作業、高所作業、構内作業、回転機器取扱い、保護具着用、静電気災害防止、RA実施、緊急時処置、等	1月度の安全行動目標として定められたルールを順守し、事故・災害を未然に防ごう」を掲示
		②事業所ルールに伴う書式類の適合性を確認する。 巡視方法；①、②が確実に実施されていることを確認する。	第3種マスターリスト（手順書）の確認
2月	危険箇所発掘・改善	実施方法；切創災害につながるおそれのある作業を確認し改善する。（例：カッター取扱い作業など） 巡視方法；危険作業の確認、改善計画作成、順次改善する	埼玉工場部署別カッターナイフ使用一覧に基づきRAの実施
		行政手続き実施状況の確認	行政への許可、届出状況確認。連絡状況の確認を行い、事務局にて集約
3月	行政手続き実施状況の確認	実施方法；①行政への許可・届出の不備、不足や許可内容等の更新、変更漏れがないか確認する。 ②行政との円滑かつ迅速な連絡体制強化のため、上記許可等にかかわる所管担当部署（警察、消防、労基他）の連絡先があるか及び変更がないか確認する 巡視方法；上記実施状況の確認	

2023年度は月次の安全衛生パトロールに更に重点項目を加え、潜在的な労働災害につながる事象の発掘等を実施



工場長巡視、月次安全衛生パトロールを通じて、安全文化の定着、5S活動等、継続的改善活動の実施

具体的な安全対策⑥-2 安全衛生パトロール（職場巡視②）

安全衛生委員会

2022年度は毎月の安全衛生パトロール、工場長職場巡視を含め、年間170件の指摘 = 170件の改善活動の実施

職場巡視対策事例①



工具置場からはみ出している工具（突起箇所による、引っかかりの危険性等）



引っ掛かり、滑落防止の対策及び危険個所表示

職場巡視対策事例②



ハケのチョイ置き（保管場所未確定）



置場の確定及び置場所の表示

具体的な安全対策⑥-3 安全衛生パトロール（職場巡視③）

安全衛生委員会

2022年度は毎月の安全衛生パトロール、工場長職場巡視を含め、年間170件の指摘 = 170件の改善活動の実施

職場巡視対策事例③



排煙オペレータ前、物は置かれず整頓されているものの、今後置かれる可能性、装置の場所の分かりにくい部分を指摘



物置禁止の表示、装置箇所の表示により、いざという時にスムーズに使用出来るように対策

職場巡視対策事例④



排煙オペレーター前、物が置かれる事例が再発

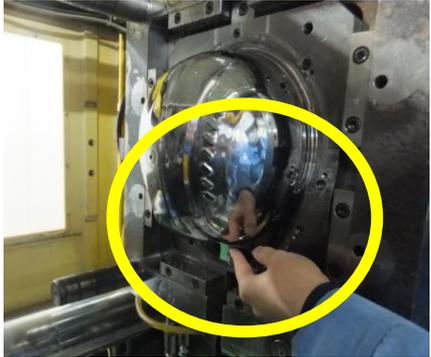


テープで範囲を指定し、干渉をしないよう対策（再発箇所での対策事例）

具体的な安全対策⑦-3 設備安全対策③

機械設備安全対策

従来



インサートバイザー成形の自動化(動画)



- ①手でバイザーをセット
- ②取出機で帽体を取り出す。
(半自動：帽体を取り出す際に取出機と人の手が干渉する危険性、並びに繰り返し作業による腰痛や立ちっぱなし作業による疲労等があった。)

ヒヤリハット（昨今の取りくみ事例：Foms活用）

ヒヤリ、ハットForms配信（一部抜粋）

ヒヤリハットご協力をお願い（期限7月7日） - 保存済み

プレビュー スタイル 回答を収集

6. あなたが普段行う作業の中で、ヒヤリ、ハットしたことはありますか *

ある 質問 7 へ

ない 質問 8 へ

7. 普段行う作業の中で、ヒヤリ、ハットしたことについて下記欄に具体例のご記入をお願いします。（回答例：私は〇〇の作業を担当しているが、その作業中に〇〇の部分に巻き込まれそうになった。私は〇〇の作業をしている際、転倒しそうになった等）

回答を入力してください

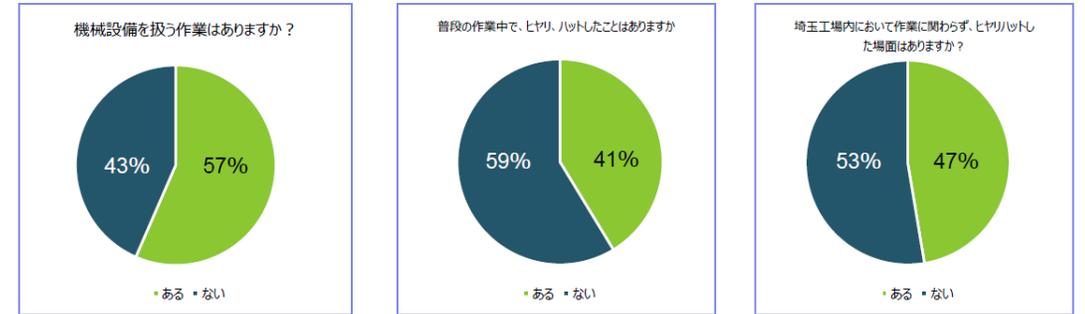
8. その他 埼玉工場内において作業に関わらず、ヒヤリハットした場面はありますか？（工場棟2階の〇〇付近の廊下で人とぶつかりそうになった。その他 転倒（段差、ひっかかる）、接触（外部のトラック、車、フォークリフト等）、はさまれ、巻き込まれ、無理な動作など。*

ある 質問 9 へ



全従業員へ配信：（全従業員から回答：一部紙で配付）
 普段の提出スタイルの「ヒヤリハット」では出てこない、
 様々な意見が抽出出来た。

ヒヤリ、ハットに関する質問を配信（10問）



意見の多かった事案は即座に実行



工場内の相手側が見えない扉に
 センサーライトの設置

工場内「出荷ヤード」段差解消等



安全衛生委員 + 全従業員へフィードバック

最後に

この度は、日本化学工業協会の「安全優秀賞」を賜り、誠に光栄に存じます。
これもひとえに、今日に至るまで安全文化を支えてくださった諸先輩方を初め、安全文化の定着に向け、安全基本動作を日々従業員が実践してきた積み重ねの結果であると思っております。安全活動に際し、関係各位の皆様におかれましては、多大なるご指導ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
今回の受賞を励みにし、「全員で安全を確保する」ことを念頭に置き、より安全で安心して働ける職場環境を目指し、従業員一同邁進してまいります。



Color & Comfort



DIC Corporation